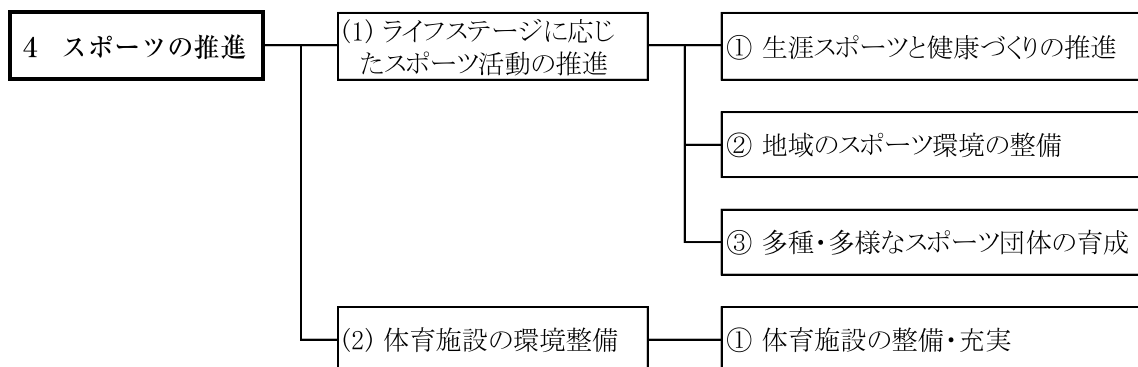


4 スポーツの推進

■体系



(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

① 生涯スポーツと健康づくりの推進

【現状と課題】

市民がそれぞれのライフステージに応じてスポーツ活動に取り組むことは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むために不可欠です。

近年においては少子高齢化の進展や、生活習慣病の増大等を受け、健康な暮らしのため、スポーツの日常化を一層進めることが求められています。また、子どもの体力、運動能力の低下が指摘されており、スポーツの楽しさを提供することが必要です。

【今後の方針と取組】

子どもから高齢者まで、さまざまなライフステージでスポーツを楽しむことができるよう、市民のニーズに応じたスポーツ活動の場を提供し、日常運動をしない人やスポーツが苦手な人に対し、気軽にスポーツに親しむきっかけづくりに取り組めます。

心身の健康保持及び増進のため、気軽に参加できる健康教室等を開催し、日常生活の中にスポーツを通した健康づくりの意識啓発に努めます。

子どもがスポーツの楽しさや魅力に触れられるよう、スポーツ大会や運動教室を開催し、子どもにとってスポーツが身近なものとなるよう機会の創出に努めます。

【主な事業】

- ・ 各種スポーツ大会、教室の開催
- ・ 「広報にのへ」やホームページ等を活用した情報提供



ニュースポーツ交流大会の様子

② 地域のスポーツ環境の整備

【現状と課題】

スポーツ環境の充実を図るためには、多様なスポーツニーズに対応できるよう、学校、地域スポーツクラブ、企業等、地域における様々な団体が、連携し協働で取り組んでいくことが必要です。また、スポーツ振興のためには、スポーツ指導者や関わる人を増やすことが大切です。本市で委嘱しているスポーツ推進委員は、地域のスポーツを支える中心的な役割を担っており、資質向上のため各種研修会等への参加や活動の機会を増やすなどスキルアップの場が必要です。

【今後の方針と取組】

市民が主体的に、スポーツ活動に取り組むことができるよう、地域のスポーツ環境を整備し、活動の拠点となる学校体育施設を開放します。

また、各種スポーツ団体の支援育成を図るとともに、（一社）二戸市体育協会及びスポーツ推進委員と連携しながら、市民が気軽にスポーツ活動に参加できる環境づくりやスポーツを支える人材育成に努めます。

【主な事業】

- ・ 学校体育施設開放事業
- ・ 各種スポーツ団体及び指導者の育成
- ・ スポーツ推進委員の活動機会の拡充

●数値目標

評価指標	現状	数値目標	
	令和元年度	令和3年度	令和7年度
学校開放事業の利用の割合 (利用延べ人数/市の人口 %)	20.0	20.0	20.0
市登録スポーツ少年団指導者数の 割合(指導者数/団員数 %)	21.0	21.0	21.0



スポーツ推進委員初任者研修の様子

③ 多種・多様なスポーツ団体の育成

【現状と課題】

近年、市内小中学校等において、剣道、柔道、野球、水泳、陸上など、多くの競技で児童生徒の活躍が見られました。

そのため、市では県代表・東北代表として全国大会に出場する選手やチームに対し、出場に要する経費の一部を補助し、体育活動の振興を支援しています。

各スポーツ団体は、スポーツの普及発展に努め、スポーツ振興の中心を担ってお

り、市では各種大会開催について経費の支援を行っています。

今後も競技スポーツの普及や競技人口の底辺拡大のため、各種大会や県大会以上の出場選手やチームに対して支援していく必要があります。

【今後の方針と取組】

各スポーツ団体や学校、スポーツ少年団の活動を育成支援するため、各種団体と連携に努めます。また、各種スポーツ大会の開催や競技スポーツに取り組む体制づくりや、選手の育成と競技力向上のため支援に努めます。

【主な事業】

- ・ 小中学校文化・体育大会出場費補助事業
- ・ 各種大会開催補助事業



第34回岩手県中学校駅伝競走大会（令和元年10月4日）で優勝した福岡中学校男子特設駅伝部

(2) 体育施設の環境整備

① 体育施設の整備・充実

【現状と課題】

二戸市総合スポーツセンターを始めとした市内の体育施設は、各スポーツ団体に活用されていますが、老朽化が進んでいます。

長寿社会を迎え、健康意識の向上や運動機能維持を目的として定期的に施設を利用する人が増えています。

今後は誰もが気軽に、そして安心してスポーツに親しむことのできる体育施設の計画的な整備・改修が必要です。

【今後の方針と取組】

市民ニーズに対応した施設の運用改善等も考慮しながら、市民の誰もが主体的・継続的にスポーツ活動に取り組むことができるよう体育施設の環境整備に努めます。

また、老朽化の進む施設については、安心して利用できるよう、施設の適切な修繕や機器の更新など維持管理に努めます。

【主な事業】

- ・ 体育施設の運動機器の修繕・更新
- ・ 体育施設の整備・改修



総合スポーツセンタートレーニング室の様子